

令和4年12月20日

市民のみなさんへ

庄原市総領支所

行政文書の発行について

12月20日付けの行政文書を次のとおり発行します。

★ 回覧文書

表 題	備 考	担 当 課 等
市営住宅（公営住宅）入居者募集について		環境建設部 都市整備課
市営住宅（特定公共賃貸住宅）入居者募集について		
水道管凍結対策のお願い		水道局 水道課
マイナンバーカードの受け取りについて	表面①	企画振興部 企画課
しょうばら脱炭素地域推進ニュース	裏面①	環境建設部 環境政策課
空き家の無料相談会の開催について	表面②	企画振興部 自治定住課
「庄原まちなか交流施設」利用のご案内	裏面②	企画振興部 商工観光課
国営備北丘陵公園イベントのご案内		
庄原市上野総合公園だより		上野総合公園
ふるむざすいむ		教育部 西城教育室
レベルアップスポーツ教室スキー教室参加者募集！！		教育部 生涯学習課
庄原さくらスポーツクラブだより		
総合体育館だより		総合体育館
庄原市老連 広報 第40号		生活福祉部 高齢者福祉課
こっこだより		総領支所地域振興室 市民生活係
園だより		総領保育所
校長便り		総領中学校

★ 各戸配布

表 題	備 考	担 当 課 等
さとやま通信		総領自治振興区
こまったときの頼れる味方 そうりょう便利帳ちょう		

<行政文書のお問い合わせ先>

〒729-3703

庄原市総領町下領家280番地1

庄原市総領支所総務室

電話番号：0824-88-2111

FAX番号：0824-88-2978

メールアドレス：soumu-sou@city.shobara.lg.jp





総領子育て支援センター

こっこだより 12月号

R4.12.20

総領子育て支援センター(保育所内)『あいあい広場』は地域の方々との交流の場、子ども同士の遊び場、悩み相談情報提供・交流の場です。

どなたでもお気軽にご利用ください。

☆開所日...火曜日・木曜日(祝日除く)

☆開所時間...AM9:00~12:00、PM1:00~3:00

《総領子育て支援センター》総領町下領家71番地

☎(TEL・FAX)0824-88-2701 ㊟(携帯)090-3634-0353

✉(メール)cocco.2701@ezweb.ne.jp

ファミリーサポート受付窓口(火・木開設時間以外は総領支所へ)

《総領支所・市民生活係》総領町下領家280番地1 (TEL)0824-88-3063

《庄原市総合サービス(株)》庄原市中本町2-13-24 (TEL)0824-75-0600

今年も残り1ヶ月を切りました。最近は、すごく冷え込みますが、空気がとても澄んでいるので夜空の星がとてもキラキラと輝いています。暖かい服装をして、冬の空を眺めてみるのもいいですね。寒くなると体調も崩しやすくなるので、栄養バランスの良い食事や十分な睡眠を心がけ、寒さに負けないように元気に過ごしましょう。

本年もたくさんのご理解とご協力に大変感謝しております。来年もよろしくお願ひいたします。どうぞよいお年をお迎えください。*



活動の様子



ふらりに行ってきました。ままごとや電車のおもちゃなどで楽しく遊びました。



紙コップと色画用紙を使って、かわいいサンタクロースが出来ました。



推進委員の横山さんに教えていただき、クリスマス飾りを作りました。型に毛糸をクルクルと巻き付けて貼り、飾りをつけました。素敵なクリスマスツリーの飾りが出来ました。





1月の予定



親子交流事業 おしゃべりあいあい

子育て相談 妊婦交流 すくすくたまご

○17日(火)・19日(木)・24日(火)
いずれも10時～
お正月あそびを楽しもう

いろいろなお正月のあそびを知り、
作ったり遊んだりして、楽しみたい
と思います。



サークル事業



○5日(木) 10時～
食に関する話
正月料理の由来について

昔からおせち料理によく使われる食材について、
どうしてそれなのか？理由や意味のおもしろさ、
それぞれの栄養について話しましょう。

○26日(木) 10時半～
美容とリフレッシュの日

いながきカイロハウス稲垣由美さんの来所です。
肩こりや腰痛が改善できるように骨盤体操をし
て、しっかりと身体をほぐし、
癒しの時間を過ごしましょう。



○10日(火) 10時～
身体計測・育児相談

身体計測を行い、日頃の子育てについて気軽に
に話しましょう。困ったことなど相談してください。

子育て学習 すくすく

○12日(木) 10時～
感染症について

この時期、子どもたちのかかりやすい感
染症について学習します。
みんなで感染症対策などについて意見
交流をしましょう。

地域交流事業

○31日(火) 10時～
図書館にお出かけしよう！

総領自治振興センター内にある図書館に行
きます。たくさんの絵本の中からお気に入りの
絵本を見つけ、
ゆったりとした空間で子ども
と一緒に読んでみましょう。



感染症の拡大予防のため、子育て支援センター来場の際は、事前の検温とマスクの着用をお願い
しています。引き続きご協力をよろしくお願いいたします。

上記の活動を計画していますが、新型コロナウイルス等の感染状況により、行事の変更を
することがありますので、その際には再度連絡します。
ご理解の程よろしくお願いいたします。



12月園だより

総領保育所 (88-2701)

令和4年12月1日

<http://sogo-service.sakura.ne.jp/soryo/>

街にはクリスマスの飾りがきれいに光っています。今年も1か月を残すのみとなりました。天気の良い日はできるだけ戸外でしっかりと身体を動かし、元気に過ごしたいと思います。12月は、発表会、クリスマス会など楽しみな行事があります。この時期ならではの行事や生活を知らせていながら、友だちや保育者と一緒に、体験していきたいと思っています。

12月の保育目標

- イメージを広げたり、感じたことを様々な方法で表現することを楽しむ。
- 手洗い・うがいを進んで行う。

12月行事予定

- 1日(木) 絵本読み聞かせ
- 2日(金) 発表会リハーサル②
- 5日(月) 身体計測
- 10日(土) 発表会
- 13日(火) お茶教室
- 14日(水) 誕生会
- 15日(木) 絵本読み聞かせ
- 16日(金) 避難訓練
- 21日(水) 内科健診 13:00~
- 22日(木) クリスマス会
- 28日(火) 保育終了

○12/29(木)~1/3(火)

年末年始休所

○1月の予定 1/4(水) 保育開始

★発表会のお知らせ★

発表会に向けて子どもたちは張り切って、練習しています。

お忙しい時期ではありますが、ご家庭の皆様、子どもたちの成長した姿をご覧ください。

とき：令和4年12月10日(土)

9:30~12:00時頃の予定

場 所：総領保育所 遊戯室

給食は持ち帰り用おやつとなります。

秋の自然物をつかって

11月16日(水)、たんぽぽ組・つくし組の子どもたちが、秋の自然物を使ってごちそうづくりをしてみんなに振舞ってくれました。「今お汁を作っているよ～」と葉っぱをちぎったりどんぐりやまつぼっくりを入れて思い思いの料理を作りました。

「いただきます」「おいしいよ」と喜んで食べてもらいました。



11月17日(木) 幼児組は、手洗いチェッカーを使って手洗いについて学びました。手のしわの中や、指の間などきれいに洗ったつもりでもバイ菌が残っていることにビックリの子どもたちでした。



リサイクルプラザ見学

11月15日(火)、ひまわり組が、リサイクルプラザに見学に行きました。実際に子どもたちもごみの分別を体験し、「これはどの色の袋だろう?!」と考えながら分別をし、物を大切にすることを学びました。また、公共の施設でのマナーを知ったり、教えてもらった方や、バスの運転手さんへの感謝の気持ちを伝えることなど良い経験が出来ました。



11月18日(金)、消防署立ち合いのもと、避難訓練を行いました。「押さない・かけられない・しずかに・もどらない」の約束をしっかりと守り訓練しました。そのあとの写生大会では大きな画用紙にダイナミックに消防車を描いていました。消防車のはしごが伸びていくのを見学したり、乳児組さんは、消防車や救急車にのせてもらって大満足でした。



サッカーワールドカップ2022

師走に入り、今年も残すところあと3週間ばかりとなりました。

寒さは日を追うごとに増していくばかりですが、そういうなかで、熱く盛り上がったのが、カタールで行われたサッカーワールドカップ。

日本代表は目標としていたベスト8にたどりつけませんでした。ネット上では、負けたこと（戦術）への批判もあれば、ここまで頑張ったことへのねぎらいなど、様々な声が飛び交いましたが、どちらにしてもそれだけ多くの関心が集まった試合だったのだと思います。

私はサッカーを詳しく知りませんが、敗戦直後に「日本は何か足りないんでしょうね…」とポツリとつぶやいた解説者のその一言が、最も深く最もの確だったと個人的に感じています。

ところで、今回予選を勝ち抜いた32か国の顔ぶれを見ると、民族・人種・宗教・言語の違い、アメリカ・ロシアに代表される主義・主張の対立、発展途上国と先進国の格差における問題など、様々な違いや対立などを抱えた国々が集結。サッカーは身体と身体がぶつかり合う激しいせめぎ合いのスポーツ。ついカッとなって、けんかや殴り合いが始まってもおかしくない。そして、その試合を裁くレフリーは、当事国とは一切関係ない国の方たち。

他方、単なる国際交流ではないこの大会は、国によっては、勝ち負けによって人生をも左右する。

国と自分の人生を背負ったたった一発のキックとそれを止めようとするキーパーによる最後のPK。あの場に立った者でなければ分からないだろう、その緊張感と重圧感…。

それだけのものを背負い、様々な違いや対立があるにも関わらず、試合は大きなトラブルに発展せず、時間がくれば終わる。いわゆる敵も味方もなくなるノーサイドだ。

こうなる答えは明確だ。みんながサッカーのルールに従っている。ただそれだけではないか。

いまだ終わらない戦いはウクライナとロシア。結局はルールがない、あつたとしてもルールを無視した私利私欲で動く戦いは、そういった「心」に従う限り、終わりは見えてこないのではないか。

勝ち続けることができない人生において、「負けたこと、うまくいかないこと」から何をつかみ取って、何を克服して、勝利（自己実現）につなげていこうとするか。

また、人間同士はどんな時も一定のルールや節度を守っていくことがとても大切なんだということ、
「サッカーワールドカップ2022」大会の選手の姿から改めて感じているところです。